

洞爺湖町アイヌ文様ロゴマーク

アイヌの方々の衣服「ルウンペ」の基本となるアイヌ文様、モレウ(渦巻紋)、アイウシ(棘紋)、シク(目玉紋)などを活かしたデザインとし、噴火湾と洞爺湖を行き交うカモメをモチーフとしています。カモメは、「昔災害が来る事を知らせた偉い鳥である」とのアイヌ伝承が残っています。デザインの決定は、虻田小学校の児童に協力いただき、一番人気のあったデザインを採用しました。



洞爺湖町アイヌ民族共生拠点施設

ウトウラノ

愛称「ウトウラノ」

「ウトウラノ」は、アイヌ語で、「共に、一緒に」を意味します。アイヌ民族共生拠点として、アイヌの人たちも地域の人たちも、共にアイヌ民族について理解し、伝承していく施設となるよう思いを込めています。

愛称の決定にあたっては、町内小学校児童や中学校・高校の生徒の皆さんの投票により決定しました。



洞爺湖町アイヌ民族共生拠点施設



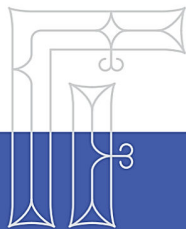
〒049-5615 虻田郡洞爺湖町本町1番地1 TEL0142-76-2794
開館時間／午前9時～午後5時
休館日／土・日・祝日・年末年始(12/31～1/5)

uturano



洞爺湖町アイヌ民族共生拠点施設

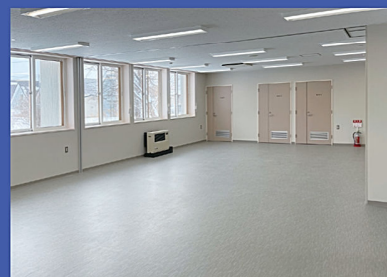
ウトウラノ



この施設は、アイヌの人たちと地域の人たちがアイヌ民族について理解し、アイヌ文化や地域文化を継承するための活動の拠点となる施設です。

交流ホール

アイヌ民具類やアイヌ教育に一生を捧げた白井柳治郎氏の功績を紹介する展示コーナーを設け、アイヌ文化や歴史を身近に感じてもらうとともに、誰もが気軽に利用できる空間です。アイヌ研修室との間の扉は開閉式となっており、開放して利用することができます。



会議室1・2

各団体や地域の方々が、会議や研修等で利用することができます。会議室1と2の間の扉は開閉式となっており、開放して利用することができます。

白井柳治郎展示コーナー

アイヌ教育に一生を捧げた白井柳治郎氏の功績を紹介したパネルや、白井日記をひもとく会により出版された「白井柳治郎日記」、実際に使用されていた所蔵品を展示しています。

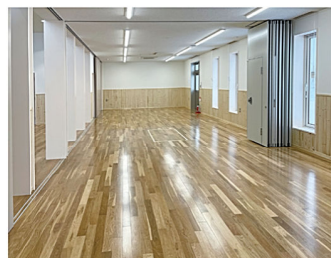


白井柳治郎は、アイヌの子どものために教育に力を注ぎ、アイヌ民族の社会的地位の向上に努めました。アイヌの子どものために、虻田実業補習を設立した小谷部全一郎と協力して、虻田第二小学校を開校しました。アイヌの人々に寄り添い、教育者として生涯をさげられた白井柳治郎は、旧虻田町名誉町民第1号となっています。



アイヌ文化展示コーナー

アイヌの伝統的な工芸技術を用いたアイヌ民族の衣服、儀礼用具、民具などを展示しています。

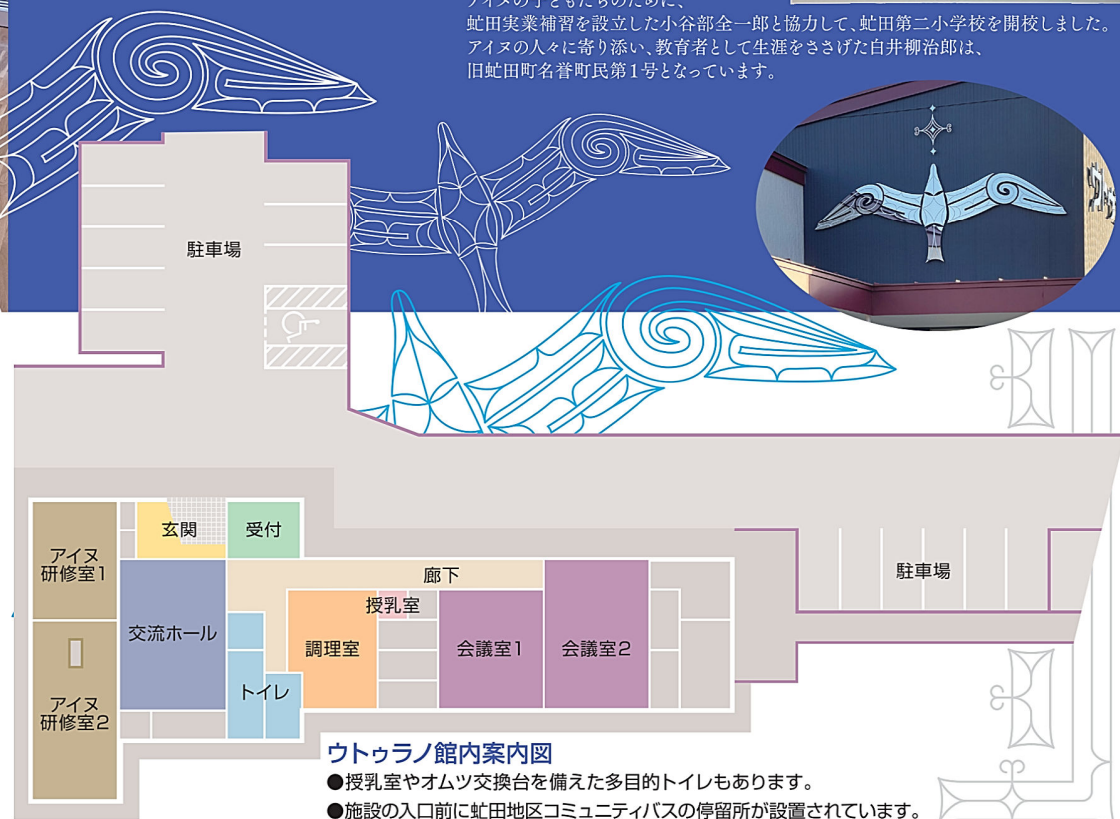


アイヌ研修室1・2

アイヌ民族の伝統的な先祖供養であるカムイノミ・イチャルバを室内で行える設備(炉)も敷設し、季節や天候に左右されことなく儀式を行える空間です。ここでは、アイヌ文化を体験する教室などを開催します。アイヌ研修室1と2の間の扉は開閉式となっており、開放して利用することができます。

調理室

小規模な料理教室ができるスペースとなっており、アイヌ伝統料理教室などを開催するほか、各団体の事業などで利用できます。



ウトウラノ館内案内図

- 授乳室やオムツ交換台を備えた多目的トイレもあります。
- 施設の入口前に虻田地区コミュニティバスの停留所が設置されています。